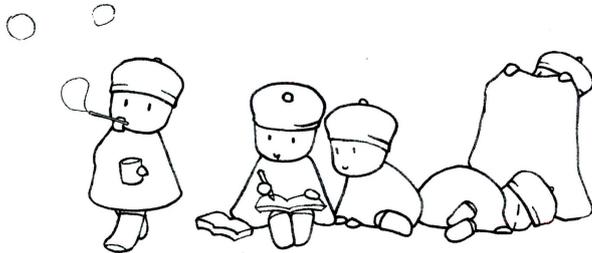


京都・市民放射能測定所



会報 第2号

市民による市民のための放射能測定所を維持するために
引き続きのご支援をお願いします。
～ 京都・市民放射能測定所開設3周年にあたって ～

東京電力福島第一原発事故から4年が過ぎ、当測定所が開所して丸3年を迎えようとしています。現在、原発事故を巡る状況はどうなっているのでしょうか？

原発事故により、福島県を始め東北地方、関東地方も広く汚染されてしまいました。原発事故は未だ収束しておらず、放射性物質は大気中にも海洋にも流出し続け、事態はますます深刻になっています。関西圏も安全ではなく、基準値内とはいえ、放射能に汚染された食品は確実に流通し消費されています。

また、放射能に汚染された肥料や建設資材の流通により、薄く広く、しかし確実に放射能汚染は広がっています。40年を超える老朽原発の廃炉が決まりましたが、廃炉作業で出る金属類のリサイクルが現実のものとなってきました。放射能汚染がますます拡散されることが懸念されます。

一方で、原発被害の風化は進んでおり、当測定所の利用も激減しています。最大230名ほどであった会員は現在130名ほどに減少しており、繰越金を除けば単年度赤字となってしまいました。現在のところは、何とか維持できていますが、5月には会員の半数以上の更新時期をむかえます。会員更新が順調にいかなければ、測定所を継続できないという最悪の状況を迎えます。

測定スタッフは、休日を返上して毎週水曜日、隔週の土・日に当測定所を開所してきました。測定技術の向上のための努力も重ねてきました。市民測定所西日本ネットワークの仲間である「南福崎土地(株)測定所」にあるゲルマニウム半導体検出器によるクロスチェックの体制も整ってきております。当所としてはできる限りの努力を重ねてきましたが、現状を打開できておりません。

そこで、みなさまに心からのお願いです。会員更新をされてない方（お手元に有効期限内の会員証のない方）は、ぜひ会員更新をお願いします。同封している郵便振替口座に入金していただくか、4ページ目のうち銀行口座に振り込みの上、メールなどでお名前とご住所とお知らせいただくと大変ありがたいです。

第3回会員総会では、会員の皆様とともに当測定所を維持発展させるための取り組み方針を討議します。3周年記念講演会（講師：OurPlanetTV代表・白石草さん）とともに、ご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

市民による市民のための放射能測定所を維持するために、みなさまのいっそうのご支援、ご協力を心からお願いいたします。

2015年4月19日
京都・市民放射能測定所
代表 奥森 祥陽